

令和4年度第2回総合教育会議 会議録

1 日 時 令和5年1月13日(金) 午後3時00分～午後4時10分

2 場 所 三島市役所中央町別館4階 第1会議室

3 出席者

(構成員)

豊岡市長、西島教育長、安藤委員、佐藤委員、草間委員

(説明者他)

鈴木教育推進部長、渡辺学習環境整備統括監、杉山教育総務課長、中村学校教育課長、
若林生涯学習課長、米山図書館長、寺田文化財課長、瓜島政策企画課長補佐

(書記)

高梨教育総務課総務係長、大角教育総務課主査

4 傍聴人の数 0人

5 協議または報告に係る事項

- (1) デジタル活用による図書館のオンライン化・自動化について
- (2) 三島市教育振興基本計画(案)の概要について

6 その他

学校部活動の地域連携等について

7 発言者及びその要旨

(1) 開会

(2) 市長あいさつ

本日はお忙しい中、当会議にご出席賜りありがとうございます。「総合教育会議」は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、平成27年度から設置されたものです。今回も、活発な議論をしていただけたら幸いです。この改正された地教行法には、総合教育会議において大綱の策定に関する協議を行うことが定められています。

今年度6月に開催した第1回目の総合教育会議において、三島市教育振興基本計画の策定をもって教育に関する大綱に位置付けることを皆様にご協議いただいたところで

す。6月以降、三島市教育振興基本計画の策定を進めて参りましたので、本日、計画の概要や進捗状況についてご説明させていただきます。

教育振興基本計画の策定においても、GIGAスクール構想に始まるICT機器やオンライン授業の急速な普及など、教育をとりまく環境の変化について取り上げておりますが、図書館においても近年ICT化が進んでいます。図書館は、本の貸し出しが、貸出しカードなどによるアナログであった昭和時代から、バーコード利用が当たり前となった平成時代、そして、今、ICタグや電子書籍が登場し始めた令和の時代へと大きな変革の時と迎えています。そこで、「デジタル活用による図書館のオンライン化・自動化について」をテーマとして、これからの図書館を考える良い機会としたいと考えております。

委員の皆様方には、忌憚ないご意見を賜りますようお願い申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。

。

(3) 議題1

デジタル活用による図書館のオンライン化・自動化について

(豊岡市長)

それでは、本日の議題に入ります。

本日1つ目の議題は「デジタル活用による図書館のオンライン化・自動化について」でございます。図書館のICT化は時代と共に進められてきましたが、子どもの活字離れ、読書離れ、コロナ禍による来館者数の減少などさまざまな課題を抱えております。図書館のICT化が進むことによる、利用者側のメリットや図書館側のメリットなどを含めてご説明させていただき、委員の皆様にご意見を伺いたいと思います。では、事務局から説明をお願いします。

(米山図書館長)

図書館長から、以下の項目に関する説明があった。

【図書館の役割】

【図書館のIC化とは】

【デジタル田園都市国家構想推進交付金】

【図書館IC化の県内状況】

【事業効果】

【今後の見通し】

(安藤委員)

バーコードとICタグの情報は大きく何が違うのか。

また、IC化が進み市民の利便性が向上し、レファレンスサービスが充実することで、読書離れに歯止めをかけるきっかけになるといいと思う。

(米山図書館長)

バーコードとI Cタグの情報は全く同じものが入っている。バーコードは手動で読み取りが必要だが、I CタグはI Cパッドに置くだけですべてのタグを同時に読み取ることができる。

読書離れは深刻な問題となっているが、これまで本に触れなかった方にいきなり本を読んでもらうことは難しいと感じる。小さな頃から親を介して本に触れたり、幼稚園や学校でもなるべく多くの本に触れたりすることが大事だと考えているので、教育機関との連携を大事にしている。小さな頃だけでも紙の本を読んでいただけるような取り組みに力を入れており、今後も続けていく。

(草間委員)

残り47万冊にI Cタグをつけていくということだが、費用はどれくらいかかるのか。

(米山図書館長)

I Cタグは1件70円くらいかかる。本を購入したときに1件1件貼付しているが、今後は貼った状態で納品していただくことにより費用が抑えられる。資料費は市費なので無駄にならないように選書や購入についての意識はしっかりと持って継続していきたい。

(鈴木教育推進部長)

現在残っている47万冊については、業者に委託して今年度中に貼付が終わる予定。

(草間委員)

高齢者などはI C化に対応できない方もいる。案内を十分にさせていただけるとありがたい。

(佐藤委員)

昔は本の検索もカードカタログで調べていた。市民の利便性を向上してもっともっと住みよい街にしていただきたい。

(豊岡市長)

蔵書の検索はできるか。

(米山図書館長)

作家やタイトルなどが分かれば検索は現在も可能。I Cタグを導入したことで、専用機器を近づけると音が鳴ったり、検索ロボットが探してくれたりすることも今後は可能になってくる。将来的に新たな仕組みをつくることができる第1歩となった。

(4) 議題2

三島市教育振興基本計画(案)の概要について

(杉山教育総務課長)

以下の事項について説明をした。

【第1回総合教育会議の振り返り】

【計画の位置づけ】

【計画の期間】

【全体の構成】

【基本理念について】

【基本方針について】

【計画の策定と今後のスケジュール】

(安藤委員)

教育全般にかかる計画を策定することはとても大変だったと思う。私たちは、子どもたちを社会に出すという教育をしている。職に就いて、自ら稼いで、税金を払うという生活ができるようにさせるのが使命の一つと考えているので、リカレント教育やリスクリングをどう考えているか伺いたい。

(若林生涯学習課長)

基本計画の中でもリカレント教育やリスクリングということは盛り込んでいる。企業が求める新たな技術革新やそこに追いつくためのリスクリングや新たな分野を自らつかみ取るためのリカレント教育に力を入れたいと考えている。

(中村学校教育課長)

学校教育の分野では、施策の柱「豊かな心や創造性の涵養を目指した取り組みの推進」の中で、キャリア教育の推進をうたっている。現行の学校教育振興基本計画の中でもキャリア教育は推進してきたが、今回策定する計画の中でもキャリア教育に力を入れたいと考えている。小学校では課外活動や学校行事において様々な社会への関心を高める取り組みや、中学校では生き方を含めた主体的な進路の選択と将来設計につなげていく。これまでも小学校で職業講話、中学校でも職業講話や職業体験を行ってきたので、それをさらに充実させながら、生涯にわたってのリカレント教育につなげていくことを計画に盛り込んでいる。

(草間委員)

幼児期の体験は10年後20年後に影響してくると思うので、その時期に情操教育をた

くさん取り入れていただければと思う。今実践している体験学習もより充実させてもらいたい。沼津市では聾学校があるので、そこで手話などを教わる体験授業を行っていると同った。様々な体験ができるようになるといい。

(豊岡市長)

障がい者との交流については、特別支援学級がある学校は学校内で交流があると思う。

(中村学校教育課長)

市内には特別支援学校はないので、学校間での交流はないが、市内の居住校区に在籍している特別支援学校に通っているお子様がいるので、その校区の小学校に来ていただいて交流をすることはある。特別支援学級がある場合には校内で、ない場合にはそのような活動で交流をこれまでもしているので、今後ますます多様性を踏まえながら活動につなげられたらと思う。

(鈴木教育推進部長)

都市計画課との連携事業になるが、バリアフリー教室というのがあり、車椅子の方や視力の弱い方との交流を図る教室を1年に1校程度ではあるが、巡回して実施している。

(豊岡市長)

幼児教育の非認知能力を育むのが大事である。幼稚園の先生方にも非認知能力を養うことを意識してもらうことが大事だと思うが、学校教育ではどのように考えているか。

(西島教育長)

文科省も提唱している「幼保架け橋プログラム」というのがあり、年長と小学校1年生の接続をなめらかにするために、双方の教育を理解し断絶しないように研究が進められている。幼稚園で大事にしてきた資質を小学校でどう受け止めてさらに向上させるかという研究もさらに進んでいくかと思う。

(佐藤委員)

ビジョンを作ることはできるが、そこからさらにどうするかが大事。子どもが夢や希望を描いたら、ビジョンを作った大人がどうそれを導いていけるか、アクション・リアクションを起こすことが非常に大事になってくる。そのためには、少しでも早く踏み出して実績を積み上げていただきたい。三島モデルのような実績を作り、一歩二歩でも歩みを進めることができればそれが近隣市町にも影響を与えることができる。それが私たちが次の社会に進むためにできることだと思う。

(豊岡市長)

ありがとうございました。教育振興基本計画は、三島市の教育の目指すべき姿と施策の方向性を示すための、教育全般に係る総括的な計画となります。今は予測不能な時代だからこそ、教育の基盤を整え、健やかな成長を支えていかなければなりません。本計画の実行と検証を委員の皆様にも見届けていただき、今後ともご指導をよろしく願いいたします。

(5) その他

(豊岡市長)

本日の議題は以上となります。続きまして、「その他」ですが、学校部活動の地域連携について事務局から説明をお願いします。

(中村学校教育課長)

学校教育課長から、学校部活動の地域連携等について国の方針等の説明があった。

(6) 閉会

(豊岡市長)

以上をもちまして、令和4年度第2回総合教育会議を閉会します。活発な議論をいただき、ありがとうございました。